

# 市政への質問

## 継続する課題について

そのほか、三田市が直面している継続課題についても、多くの質問がありました。

### 医療と国保

#### さらに安心して出産できる市民病院へ

**問** 市民病院に助産師外来を設置してはどうか。

**答** 来年度から助産師外来の設置に向け検討。

市民病院の助産師数は、7月から1名増の8名体制となった。

助産師が妊婦を診察する助産師外来については、妊婦の意思を尊重することができ、また助産師の「やる気」を高める意味からも意義があると考えている。

来年度からの実施に向けて検討を進めるが、対象は、妊娠20週から39週の妊婦を考えている。



▲お母さんが安心できる産婦人科を(市民病院)

#### 経営を圧迫する

##### 「いわれ」

**問** 市民病院について、お産ができない、救急を受け入れてくれないなど、誤ったうわさがあるが、病院として、どのように受け止めているのか。

**答** 収支悪化の一因になり残念。

市民病院は、19年度に、医師、看護師不足から病棟の一部休止や診療科の休診など医療体制が十分に確保できない事態となった。そんな中、事実と異なるうわさにより、病院運営が大きく影響を受け、収支悪化の一因にもなっていることは残念である。

今、厳しい経営状況にある市民病院の再生に努力しており、6月には休止病棟の一部再開や専門医の確保による糖尿病専門外来の新設、診療日の増設など確実に診療体制を充実している。今後も病院運営基盤の確立

#### ひび迫る国保会計

**問** 国保税の税率改定で中間所得層の負担が増える。一般会計から国民健康保険会計へ繰入れ、市民の負担を減らすべき。

**答** 負担の公平性から適切でない。

本市の国保財政は、加入者の所得の減少などにより、歳入が伸びず、1人当り国保税は、平成10年度に比べ、19年度は0.9%の伸びにとどまっている。一方で、医療給付額の伸びは、21.5%と大きく伸び、国保財政に大きな影響を与えている。

これまで3年間税率を据え置いてきたが、国保財政を維持していくためには、今回の税率改定はやむをえない。一般会計からの繰入れについては、医療保険制度は医療に必要保険給付を行う相互扶助の制度であり、社会保険などの他の医療保険制度加入者との負担の公平性から、適切ではないと考えている。

### まちづくり

#### まちづくり憲章

**問** 「三田まちづくり憲章」の制定過程に問題はなかったか。

**答** 市民参加を基本に策定。

三田まちづくり憲章は、市の50周年の節目に、さらなる市民との協働のまちづくりの規範、基本指針として定めるものである。この憲章の制定過程については、市民参加を基本に、策定委員会や議会にも諮り、策定作業を進めてきた。

まちづくり憲章を市民に十分に理解していただくため、7月1日の市制50周年記念式典において発表するなど、今後の広報と普及啓発に力を入れ、市民と一緒に進めていきたい。

#### ウッドイタウン

**問** ウッドイタウンの全体構想と今後の計画は。

**答** 20年度事業完了に向け、積極的誘致活動を展開。ウッドイタウンは都市再生機構による積極的な誘致活動などにより、平成20年度の事業完了に向け、取り組んでいる。ウッドイタウン中央駅から南駅間のセンチュリーパーク全12ブロックのうち、4ブロックが未整備で残っていたが、2ブロックについては、進出企業が決定した。また、ウッドイタウン中央駅前のブロックについては、核テナントが決まり、いずれも21年度内オープンに向け、調整が行われている。

#### カルチャータウン

**問** カルチャータウンの整備に関する今後の方針は。

**答** 地区センターの整備が最重要課題。

カルチャータウンは、県により定期借地権付宅地として分譲している学園8丁目など、現在2地区で徐々に入居が進んでいる。

宅地の販売促進のために、まちの利便性の向上が重要であり、生活利便施設である地区センターの整備が最重要課題である。県においても2度の公募を行ったが、業者の撤退などもあり、進展していない状況である。今後、県に対し、より一層取組みの強化を求めている。

#### 新三田駅ロータリー

**問** JR新三田駅前ロータリーの渋滞について、今後の対策は。

**答** 公共交通機関の利用促進をよびかける。

新三田駅は、通勤・通学の送迎車両の集中により混雑していたことから、過去、大型車両用ロータリーの改善を行った。その結果、路線バスの到着遅延はほとんど解消されたが、一般車両のロータリーについては、停車帯におけるマナー違反の車両もあるため、時間帯によっては混雑している。

今後の対策として、通勤・通学などの駅利用者に対してバス・電車などの公共交通機関の利用を呼びかけ、ロータリーの一般車両を減らしたい。

また、渋滞の原因を把握するため、車両の利用状況調査や国道176号線側ロータリーの整備などと併せ新三

田駅前ロータリーの改善策を検討したい。

#### 街路樹の管理

**問** 街路樹の根が張り、歩道の舗装を持ち上げ危険である。今までの補修延長と費用は。また、街路樹の今後の対策を伺いたい。

**答** 効率、効果的な手法を検討。

街路樹の成長が、歩道の縁石や舗装面を持ち上げる「根上がり現象」が発生し、歩行者や自転車などの通行のさまたげとなっている。安全に通行できるように根の切除と舗装面を補修し、防止策として遮根壁を設置している。現在まで、市道の4路線の延長約3kmを約1、800万円で補修している。

今後は、根上がり度合いなどを踏まえ緊急性の高い所から順に補修を進める。単に遮根壁を設置する対策では、街路樹を弱らせ倒木、枯死する危険があることから、効率的、効果的な整備手法を考えたい。

#### 新行政改革プラン

市民が安全で安心して、元気に暮らせるまちの実現をめざして、策定したものです。目標としては、23年度に経常収支比率(数値が低いほど新規や臨時に使う財源がある)93%、実質公債費比率(18%を超えると市債の借入に県の許可要)17%台、20、23年度の4年間で総額45億1030万の効果額をめざすものです。

#### まちづくり基本条例

まちづくりの基本理念や市政に対する市民参加・参画の手続きなどを定め、他の条例との関係で最大限尊重される市の最高法規とも呼べる条例です。策定方法については、市民参加・参画が大前提であり、他市の例では原案作成の段階から市民がかかわっています。

### 三田まちづくり憲章

私たちは、すべての市民が誇りを持って、ひとと自然が輝くまち・三田を共につくるために、この憲章を定めます。

私たちは、

- 一、命を大切に、互いに助け合う、心ふれあうまちをつくりまします。
- 一、誰もが元気で笑顔があふれる、希望に満ちたまちをつくりまします。
- 一、美しい風景を守り、自然と共に育つまちをつくりまします。
- 一、伝統を尊重するとともに、新しい市民文化のまちをつくりまします。
- 一、里の恵みを大切に、未来につなぐ活力あるまちをつくりまします。